

顎関節症治療科

顎関節症治療科の研修の特色

- 顎関節症治療科研修では、顎関節症をはじめとする顎口腔機能系の障害に対して最新の知見に基づいて行われる診断、治療を習得することができます。
- また、薬物療法、理学療法だけでなくスプリントの作製など開業歯科医院に勤務した時に身につけておきたいスキルとしての初期治療を学ぶことができ、パンピングマニピュレーションなどの外科的治療も経験できます。
- さらに、補綴治療全般についても学ぶことができます。
- 顎口腔機能系の障害に対する最先端の診療に参加することは、ストレスの多い社会となった現在、地域社会の要請に応えられる歯科医師として活躍するための大きな基礎を固めることができます。

2025年度の主な症例と治療法の内訳

| 症 例 | 症例数 |
|---------------|-----|
| 顎関節症 | 641 |
| 睡眠時ブラキシズム | 26 |
| 咬合違和感症候群 | 10 |
| 顎関節脱臼 | 7 |
| 神経障害性疼痛 | 9 |
| 舌痛症 | 0 |
| 咀嚼筋腱・腱膜過形成症 | 0 |
| 特発性下顎頭吸収（PCR） | 2 |

| 治療法 | 症例数 |
|-------------|-----|
| 習癖是正・認知行動療法 | 641 |
| 理学療法 | 559 |
| 薬物療法 | 22 |
| スプリント療法 | 42 |
| トリガーポイント注射 | 3 |
| マニピュレーション | 2 |

| その他 | 症例数 |
|--------------|-----|
| 睡眠時無呼吸用口腔内装置 | 31 |
| スポーツマウスガード | 6 |

| 歯科医師名 | | 役 職 | 出身校 | 卒業年 | 資 格 |
|-------|-------|-----------------|--------|-------|---|
| 常勤 | 菅沼 岳史 | 教 授 (診療科長) | 昭和医科大学 | 昭和60年 | 日本顎関節学会 専門医・指導医 日本補綴歯科学会 専門医・指導医 |
| | 犬井 知美 | 助 教 (診療科長補佐) | 昭和医科大学 | 令和2年 | |
| | 篠崎 皓介 | 助 教 (歯科) | 昭和医科大学 | 令和4年 | |
| 大学院 | 政木 美香 | 社会人大学院4年 | 昭和医科大学 | 令和4年 | |
| 非常勤 | 渡邊 友希 | 兼任講師 | 昭和医科大学 | 平成8年 | 日本顎関節学会 専門医 日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医 日本慢性疼痛学会 専門歯科医 ドライマウス研究会 認定医 |
| | 佐藤多美代 | 兼任講師 | 北海道大学 | 平成22年 | 口腔顔面痛学会 認定医 マウスガードテクニカルインストラクター |
| | 和気 創 | 兼任講師 | 日本大学 | 平成23年 | 日本顎関節学会 専門医 日本口腔外科学会 認定医 |